

余市町地域公共交通網 形成計画

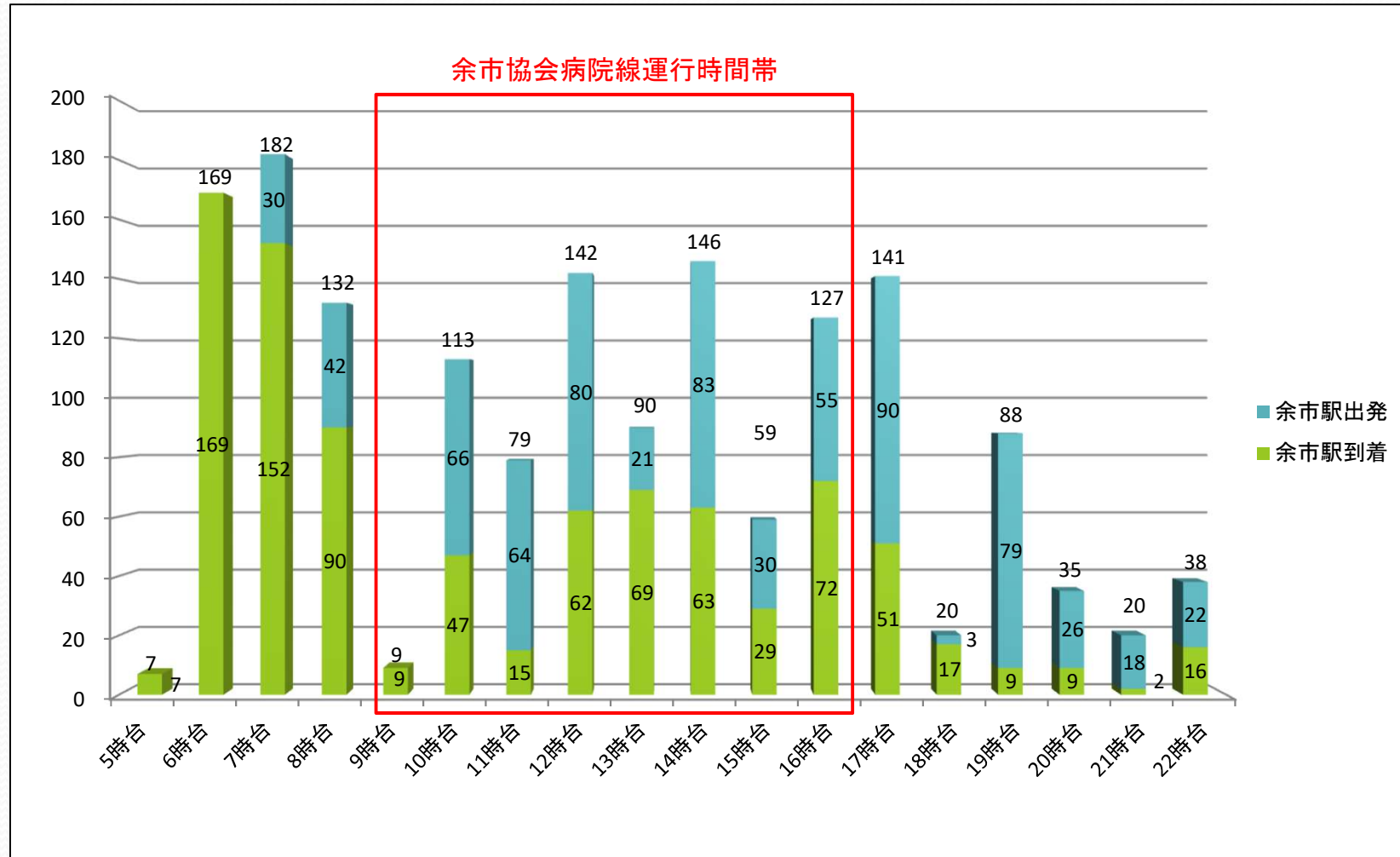
公共交通実態調査結果の概要

目 次

JR余市駅利用実態調査	3
余市紅志高校スクール便乗降調査	7
JR利用者アンケート調査	10
余市紅志高校アンケート調査	24
余市大川小学校アンケート調査	33
公共交通実態調査結果	40

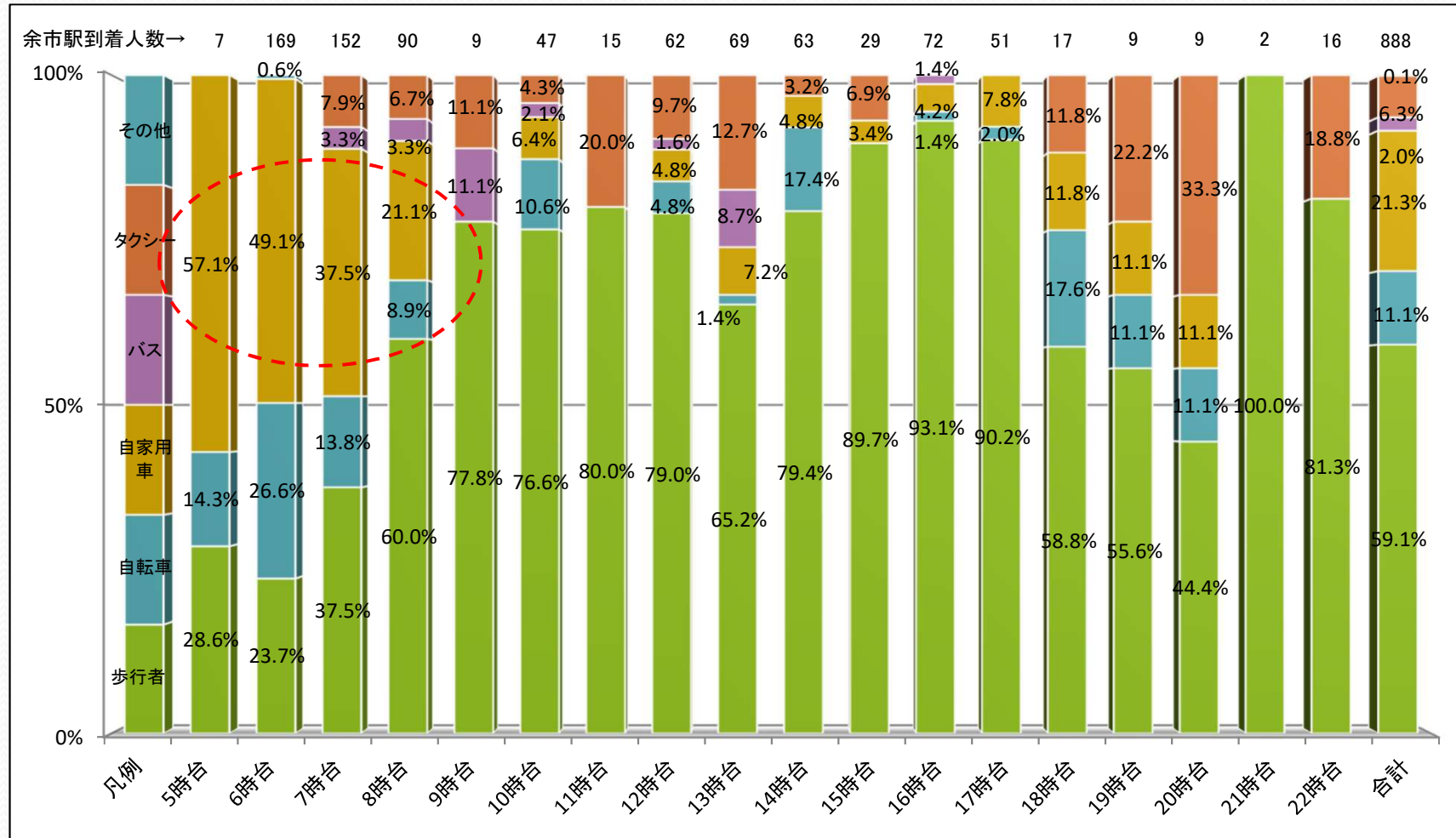
JR余市駅利用実態調査

【時間帯別利用人数】



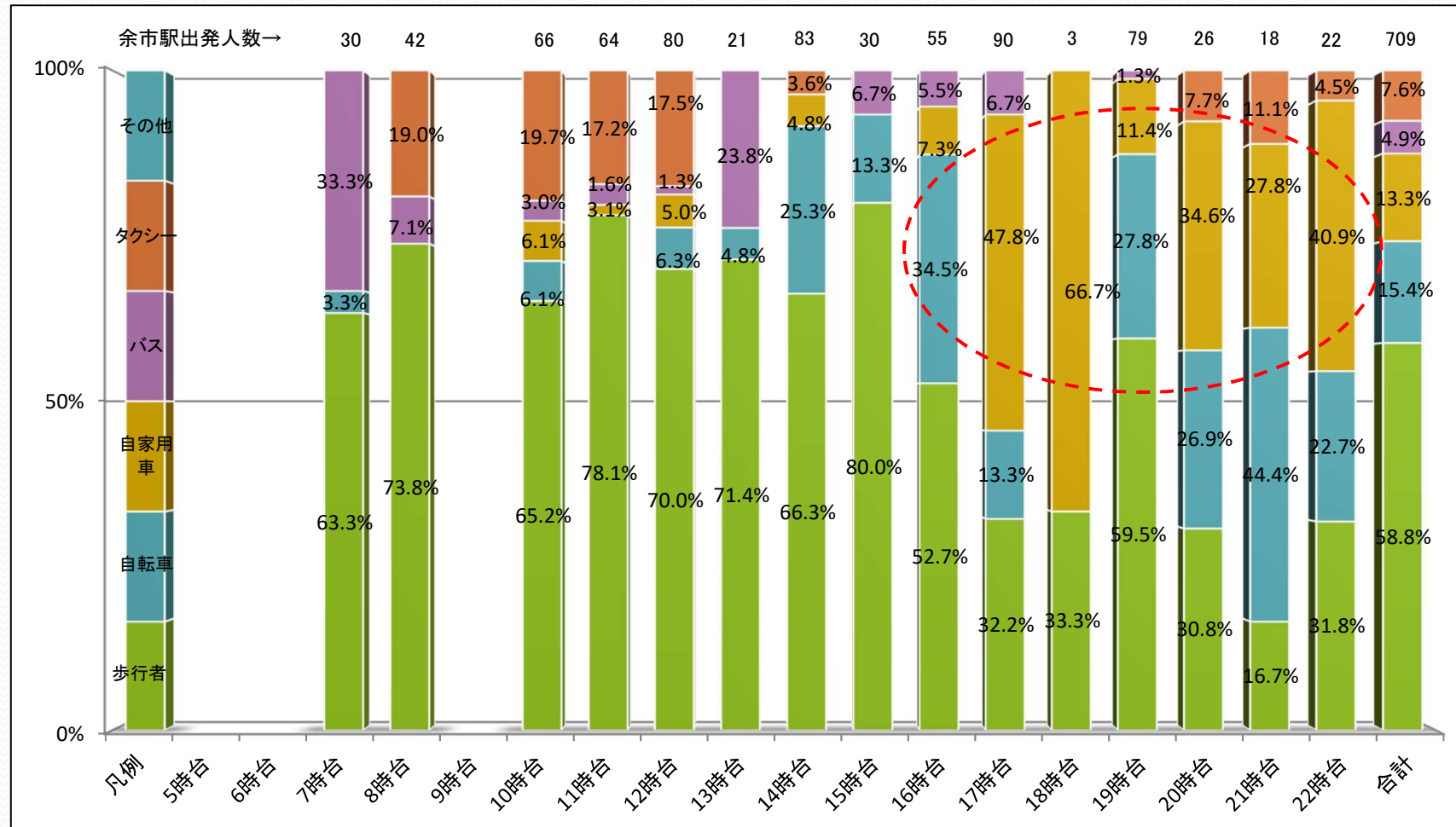
JR余市駅利用実態調査

【時間帯別端末交通手段別構成比(余市駅到着)】



JR余市駅利用実態調査

【時間帯別端末交通手段別構成比(余市駅出発)】



JR余市駅利用実態調査

●まとめ(余市協会病院線の増便・延伸等に関する事項)

- ・余市協会病院線運行時間帯以外にJR余市駅を利用(以下「時間外利用」と記す)する方は全JR余市駅利用者数の44%。
- ・時間外利用者の端末交通は「自家用車(送迎)」が多い。
 - 5～7時台 : 37.5%～57.1%
 - 17～22時台 : 11.4%～66.7%
- ・以上から時間外利用者の駅アクセス交通として、早朝及び夜間の時間帯において余市協会病院線を増便することが考えられる。

余市紅志高校スクール便乗降調査

【停留所別乗降人数(登校便)】

	東大浜中 7:52	大浜中 7:53	旭中学校 7:54	大川 丁目 7:55	大川小学校 7:57	大川6丁目 7:58	大川十字街 7:59	余市駅前 8:05	余市宇宙記念館前 8:06	余市役場前 8:08	浜中町 8:09	沢町2丁目 8:10	余市紅志高校 8:13
小学生	-	7人 乗車	-	-	7人 下車	-	-	-	-	-	-	-	-
中学生	1人 乗車	-	1人 下車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高校生	1人 乗車	4人 乗車	1人 乗車	-	-	1人 乗車	-	19人 乗車	-	-	-	-	26人 下車
合計	2人 乗車	11人 乗車	-	-	7人 下車	1人 乗車	-	19人 乗車	-	-	-	-	26人 下車
累計	2人	13人	13人	13人	6人	7人	7人	26人	26人	26人	26人	26人	0人

余市紅志高校スクール便乗降調査

【停留所別乗降人数(下校便)】

	余市紅志高校 15:40	沢町2丁目 15:41	浜中町 15:43	余市役場前 15:45	余市宇宙記念館前 15:47	余市駅前 15:48
小学生	-	-	-	-	-	-
中学生	-	-	-	-	-	-
高校生	20人 乗車	-	-	7人 下車	-	13人 下車
合計	20人 乗車	-	-	7人 下車	-	13人 下車
累計	20人	20人	20人	13人	13人	0人

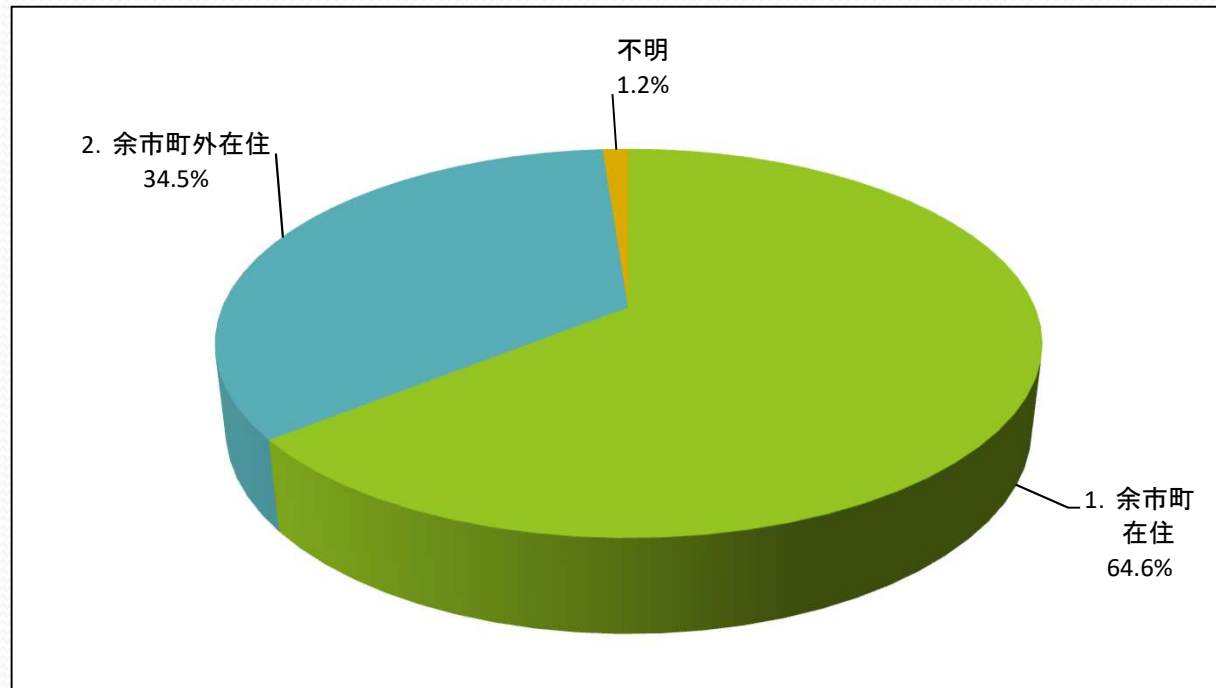
余市紅志高校スクール便乗降調査

●まとめ(余市協会病院線の増便・延伸等に関する事項)

- ・登校便で33人、下校便20人の利用があり、(仮称)余市循環線に取り込むことが考えられる。
- ・東大浜中～大川十字街で14人(小中学生8人)の乗車があるため、下校便においても登校便と同様の運行とすることが考えられる。

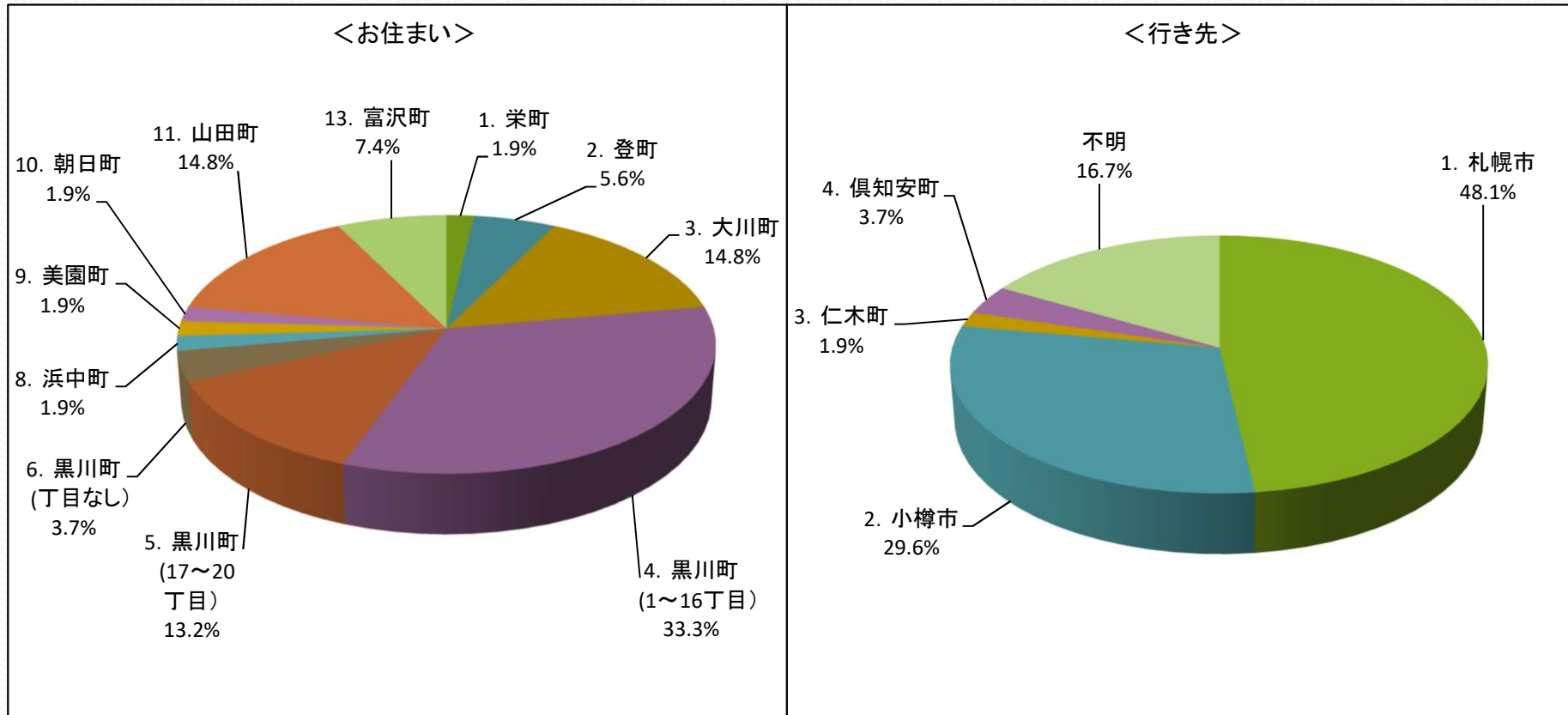
JR利用者アンケート調査

【町内在住者と町外在住者の構成】



JR利用者アンケート調査

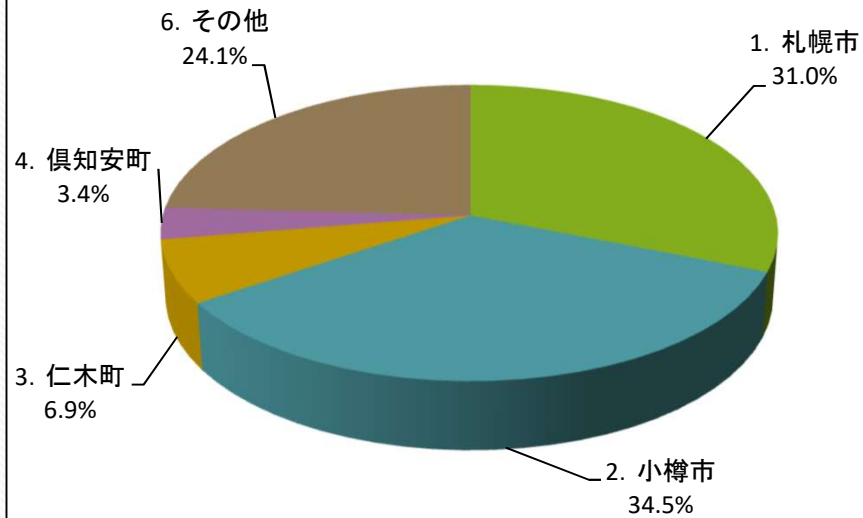
【町内在住者】



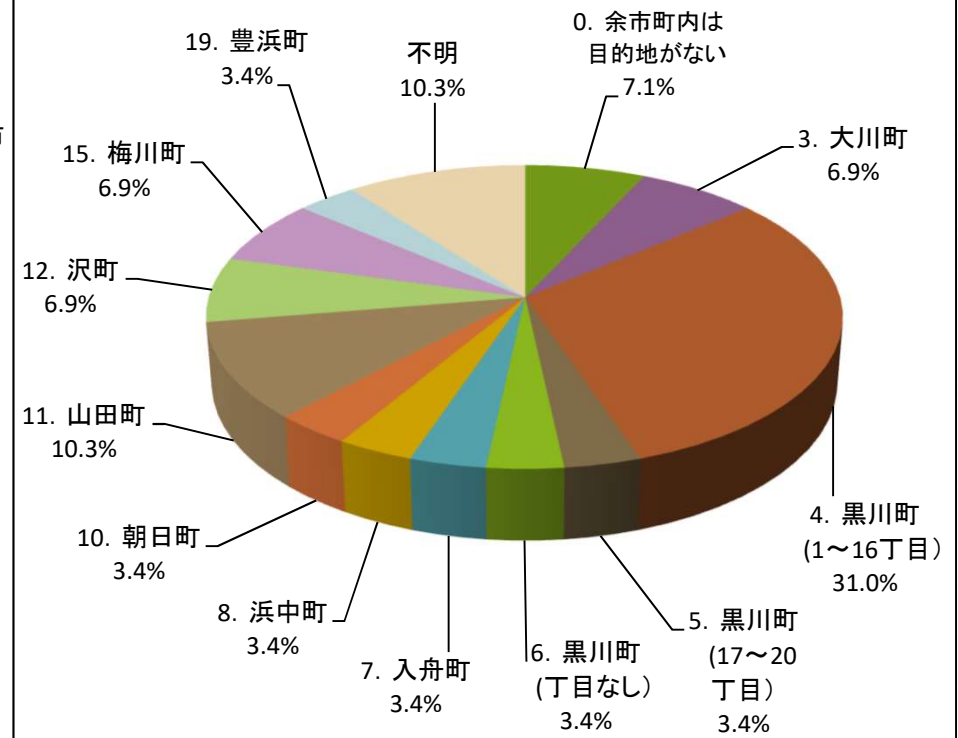
JR利用者アンケート調査

【町外在住者】

＜お住まい＞

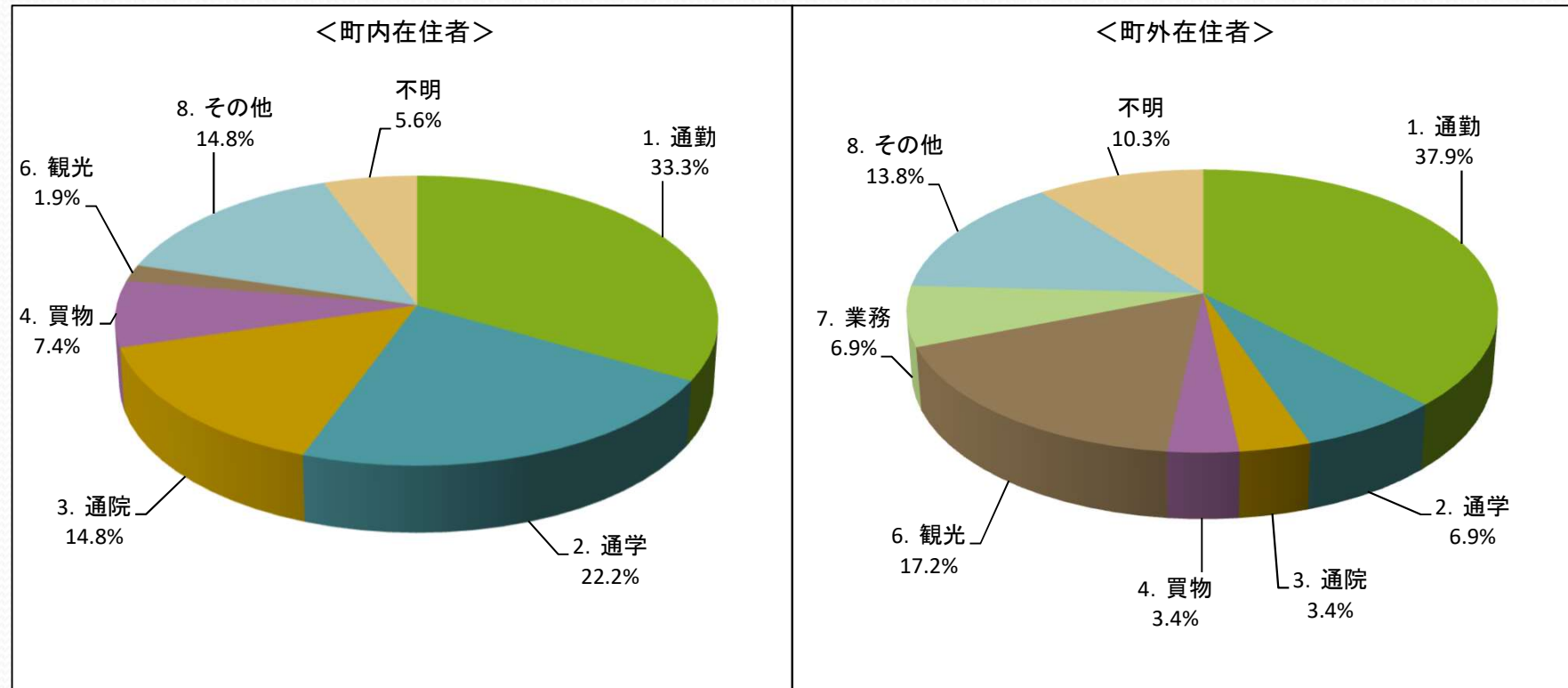


＜行き先＞



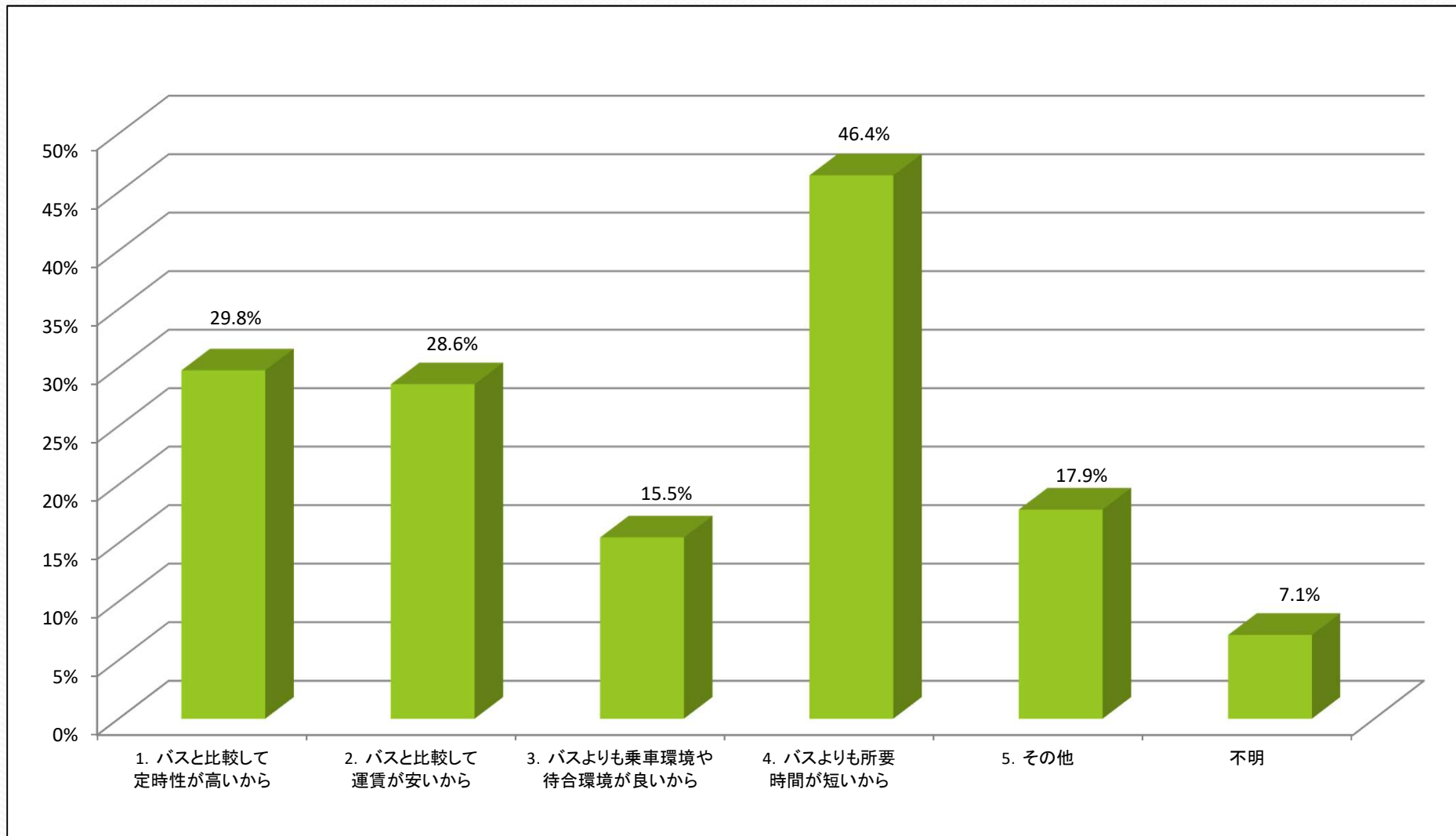
JR利用者アンケート調査

【JR利用目的】



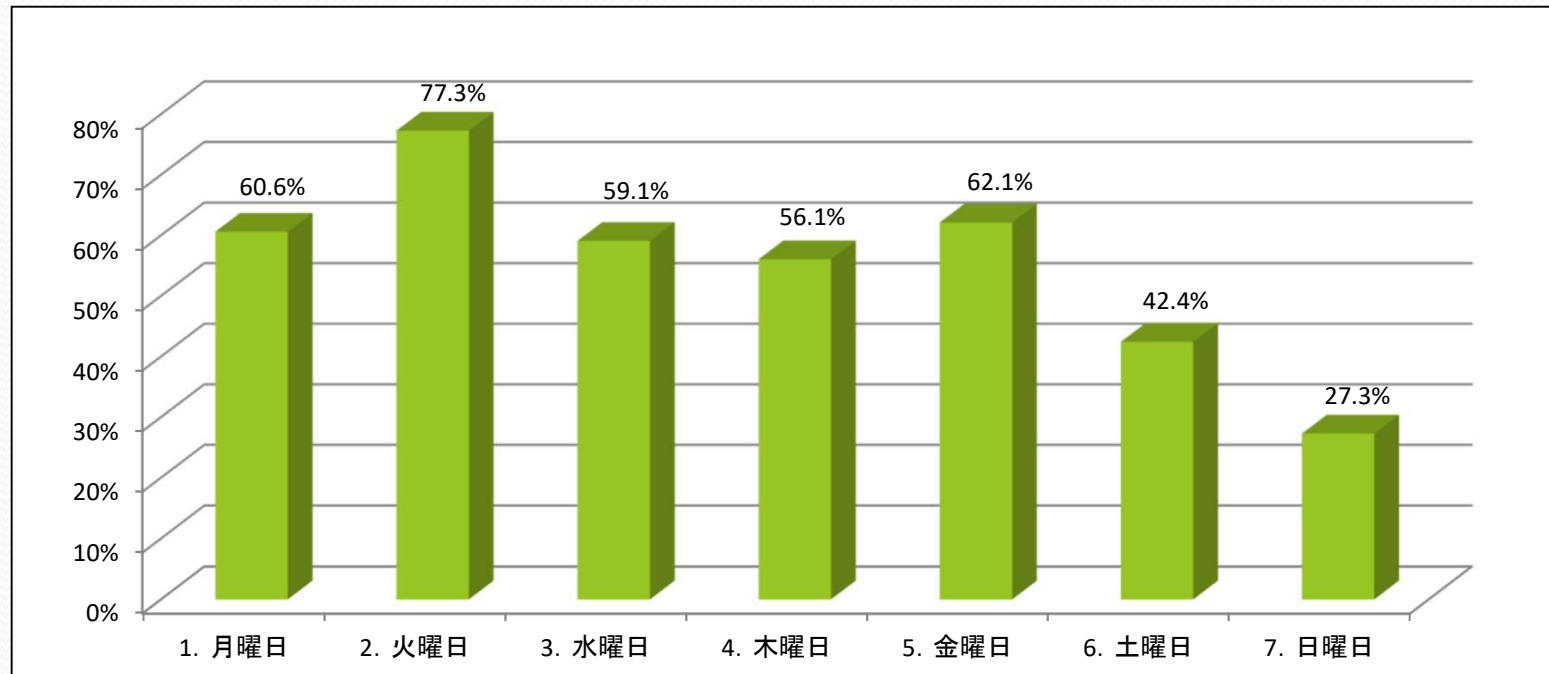
JR利用者アンケート調査

【JR利用理由】



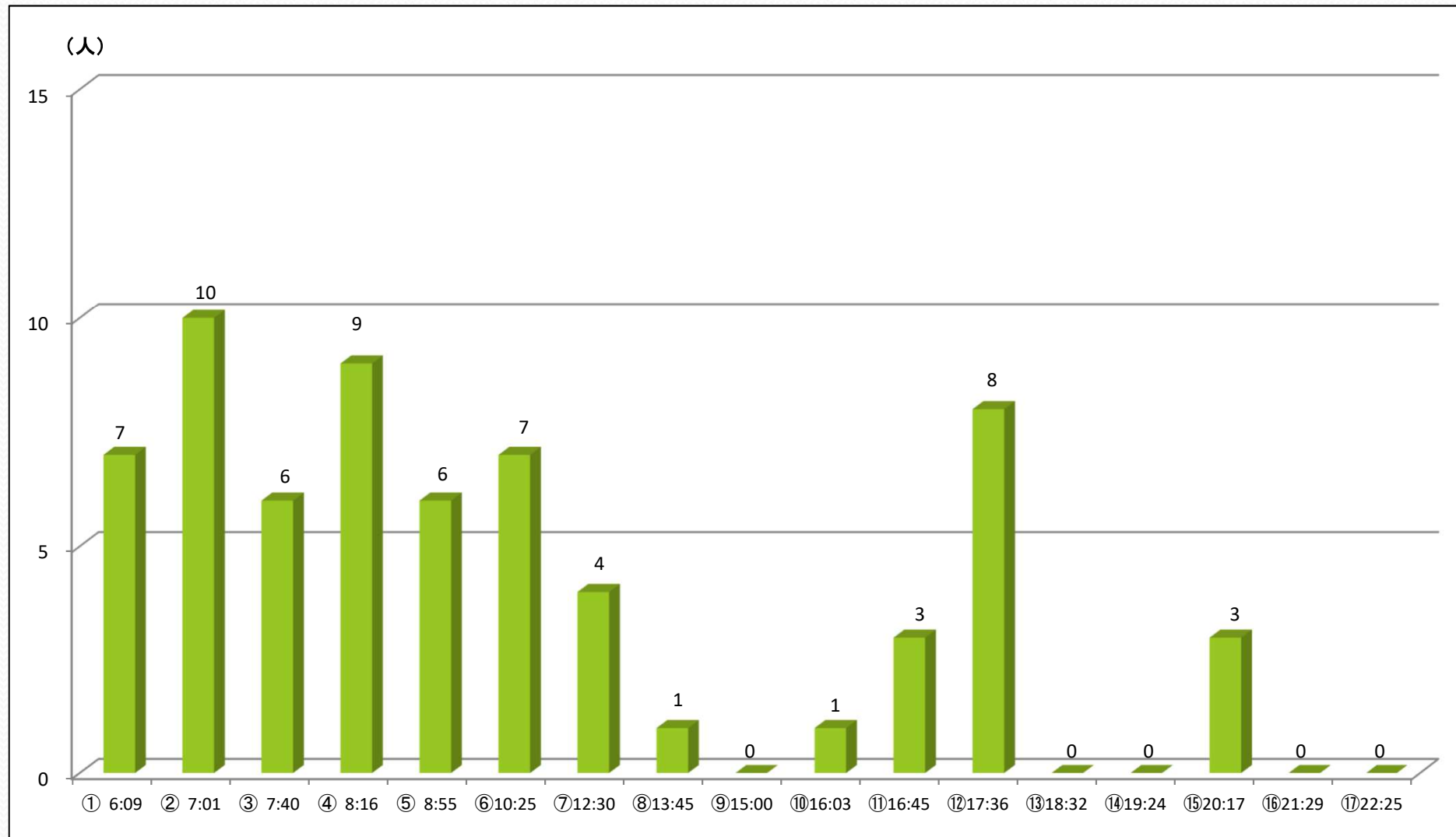
JR利用者アンケート調査

【JR利用状況(調査日の前の週)】



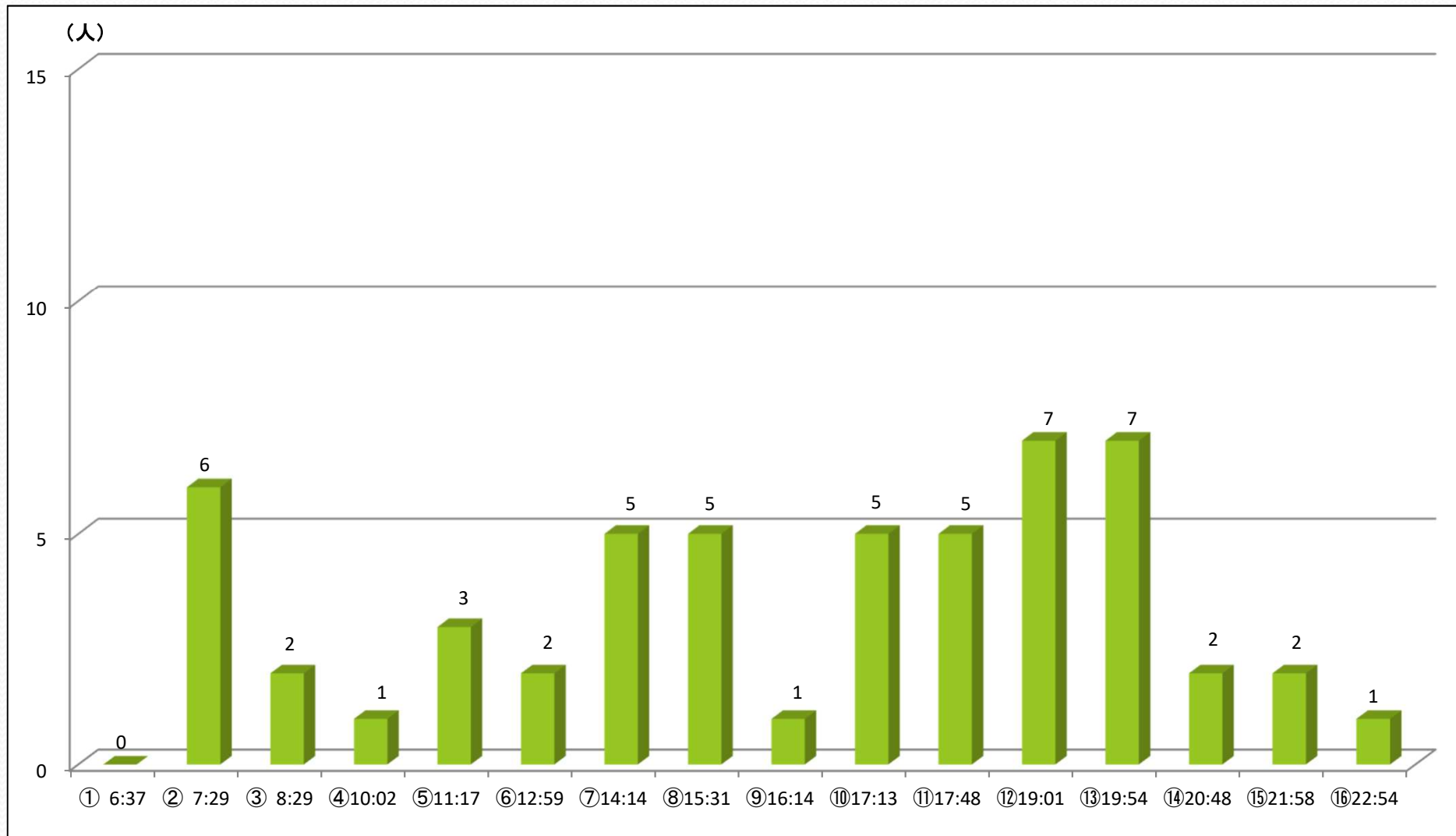
JR利用者アンケート調査

【JR便別利用人数(余市駅⇒小樽・札幌方面)】



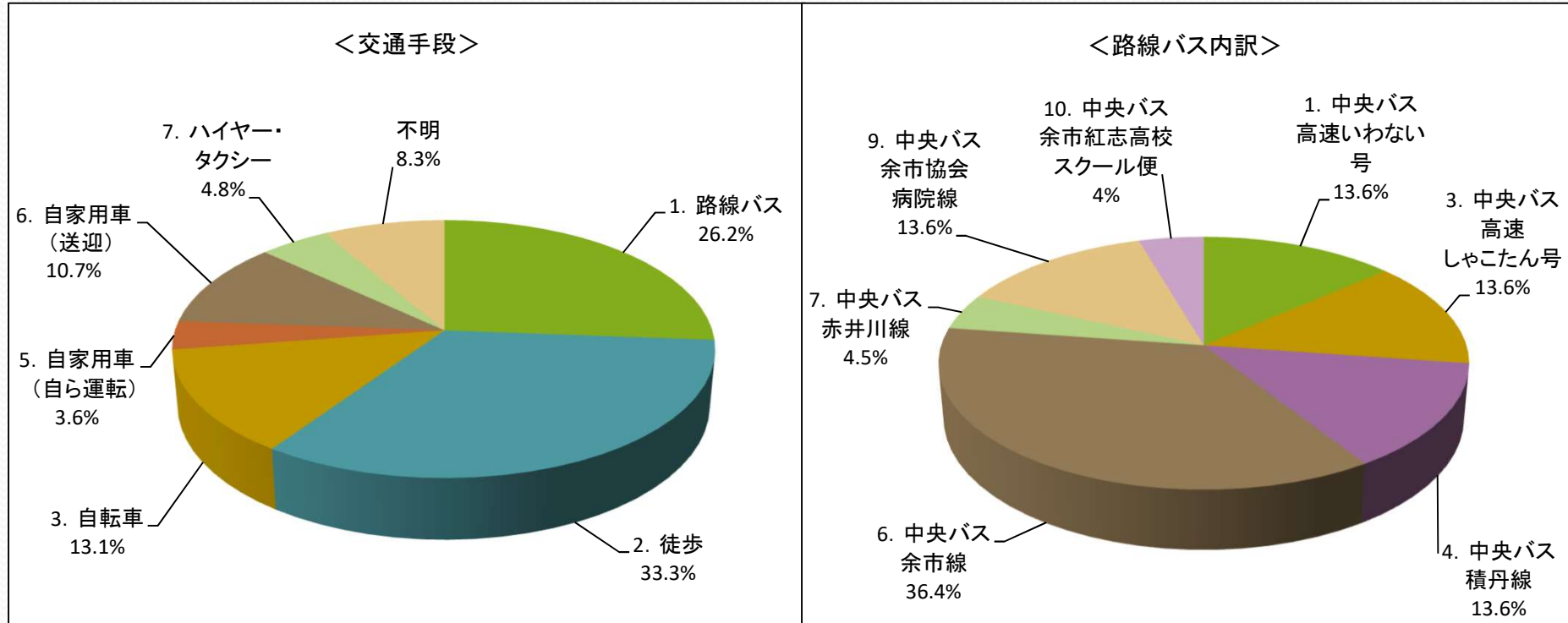
JR利用者アンケート調査

【JR便別利用人数(小樽・札幌方面⇒余市駅)】



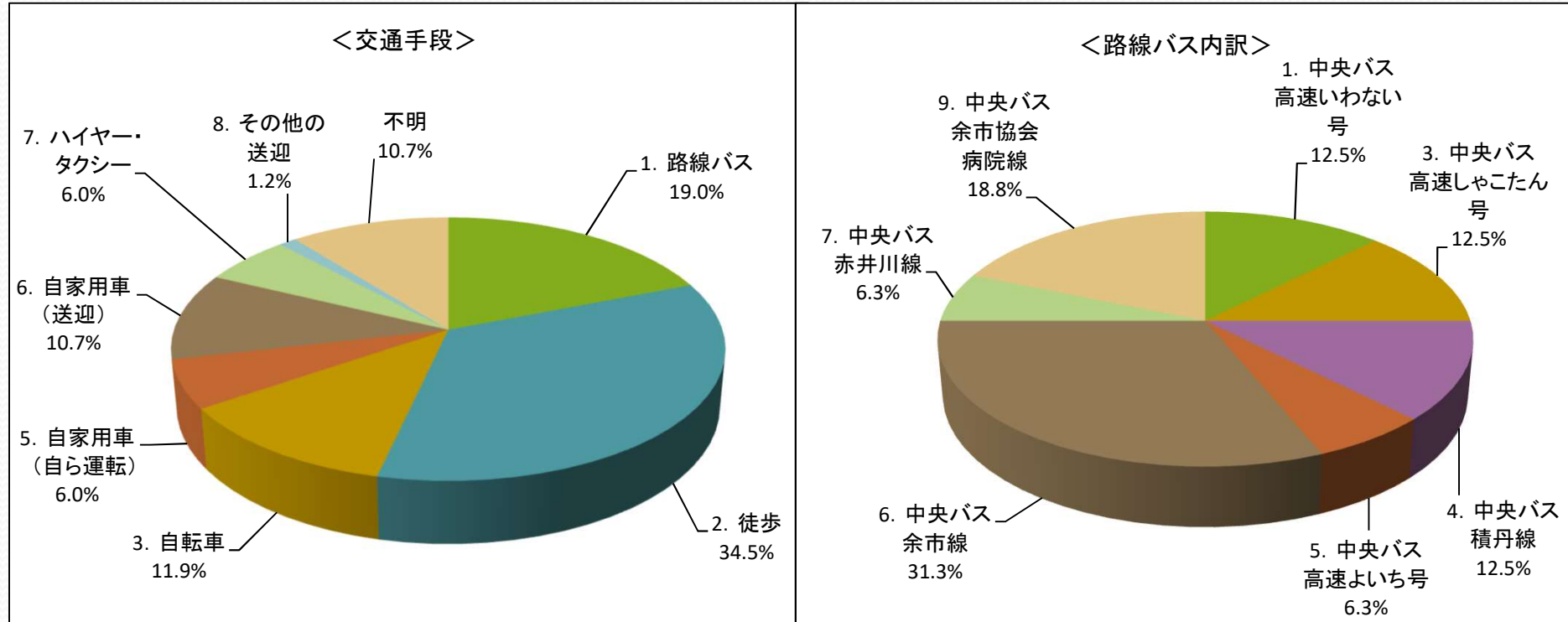
JR利用者アンケート調査

【自宅等から余市駅までの交通手段】



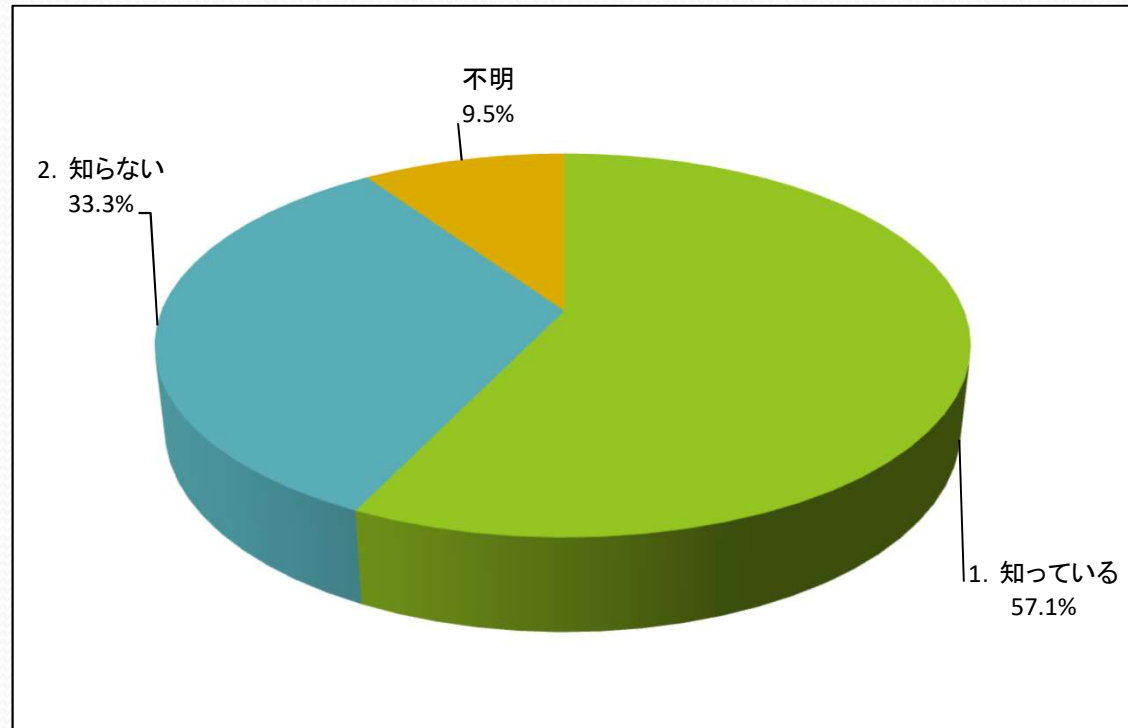
JR利用者アンケート調査

【余市駅から自宅等までの交通手段】



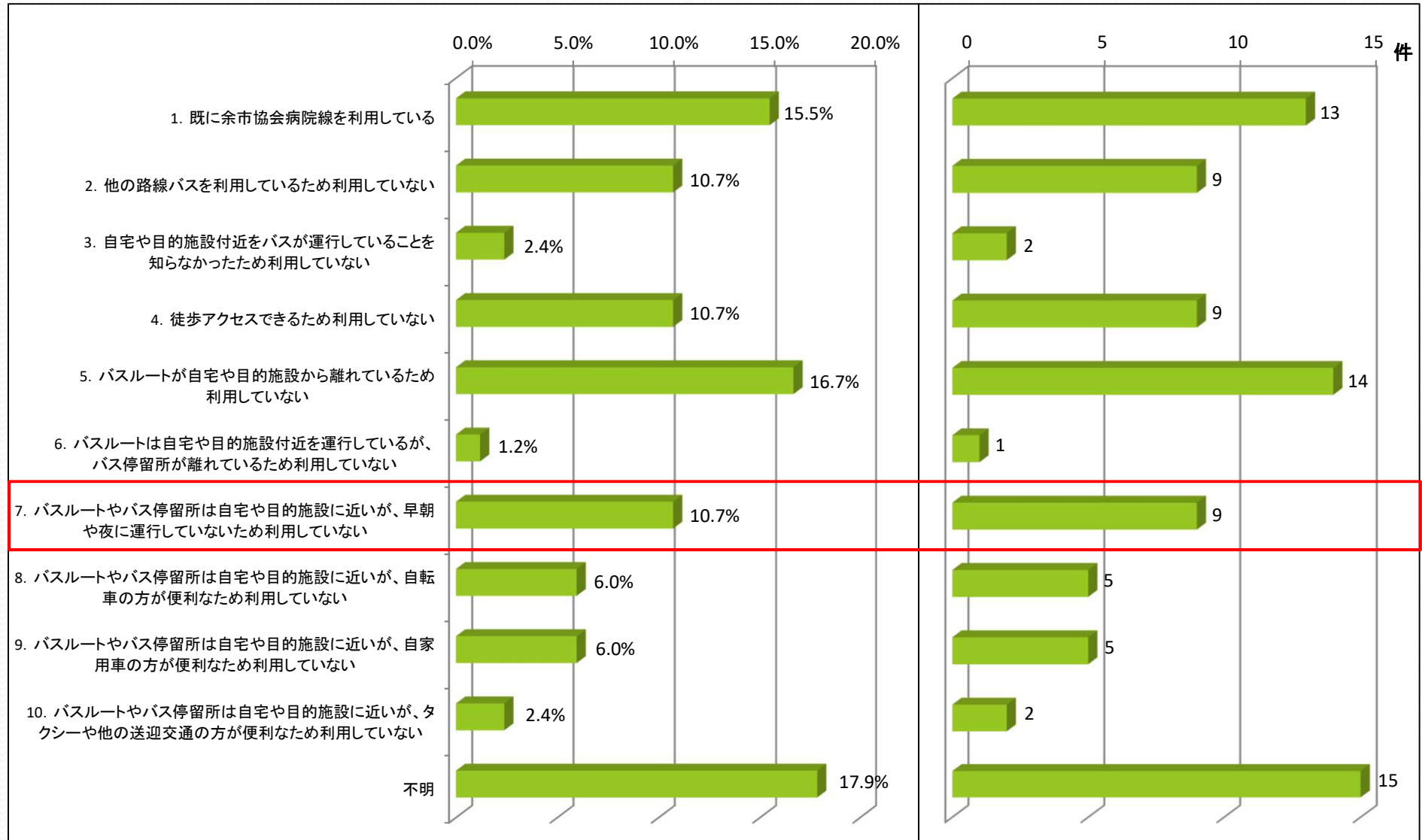
JR利用者アンケート調査

【中央バス余市協会病院線の周知状況】



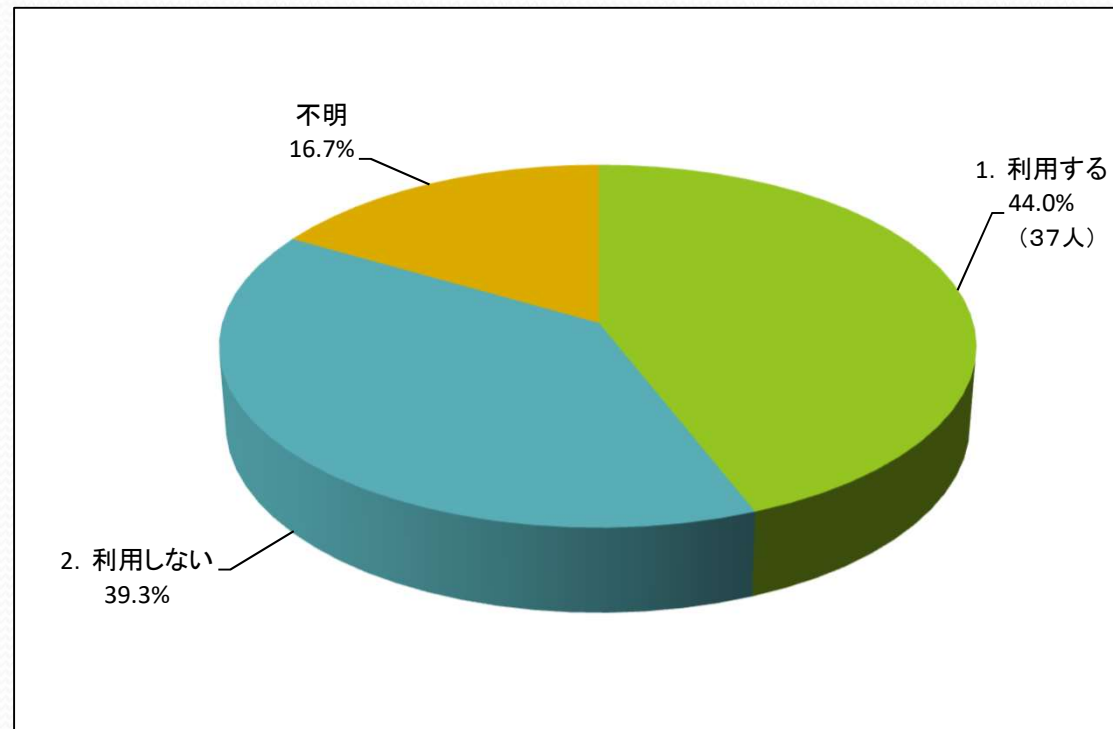
JR利用者アンケート調査

【中央バス余市協会病院線の利用状況】



JR利用者アンケート調査

【JRとスムーズに乗り継げる場合の中央バス余市協会病院線の利用】



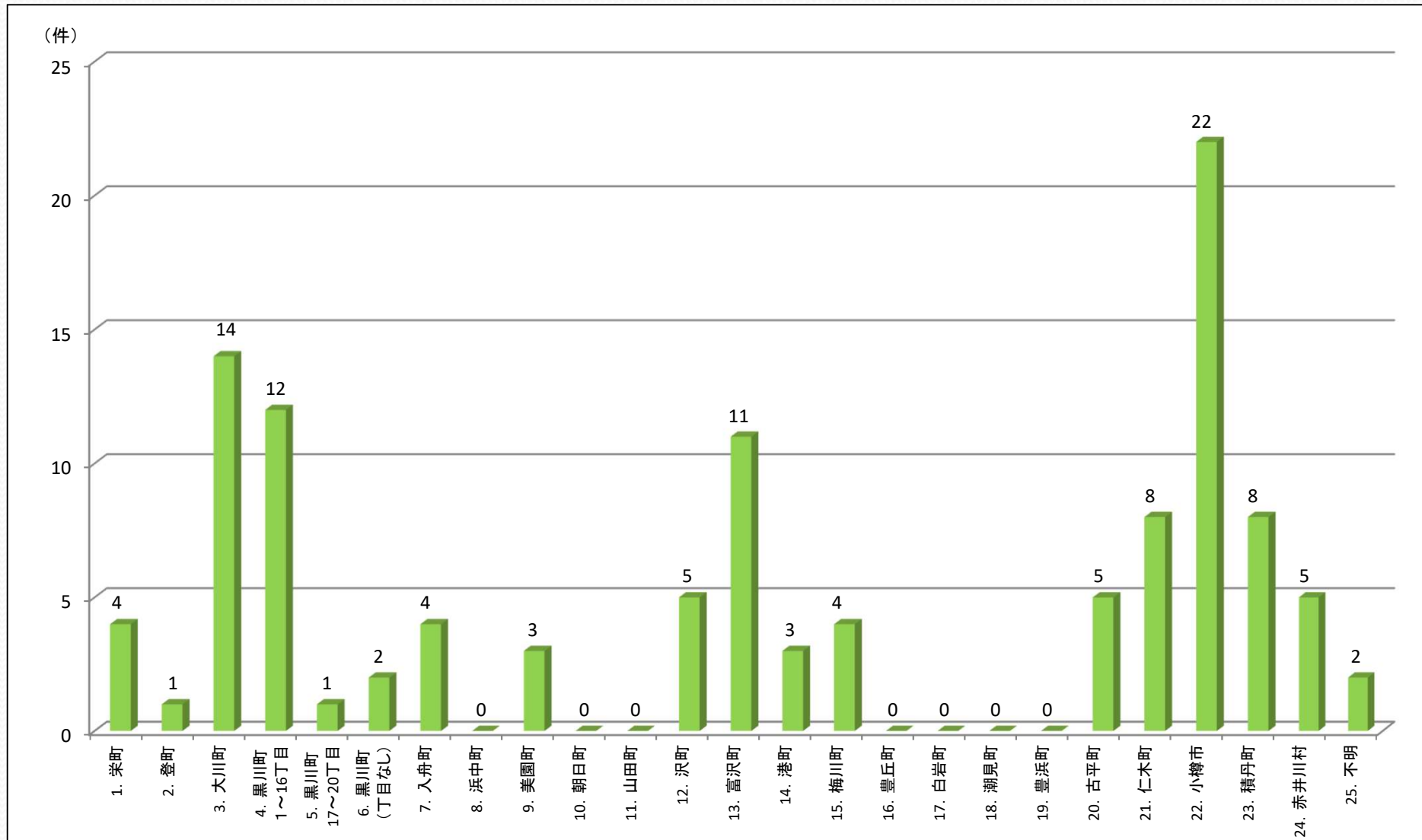
JR利用者アンケート調査

●まとめ(余市協会病院線の増便・延伸等に関する事項)

- ・余市協会病院線は、早朝の時間帯に運行していないため、小樽・札幌方面行に対して49%の方の利用に対応できていない。
- ・同様に夜間の時間帯に運行していないため、小樽・札幌方面着に対して54%の方の利用に対応できていない。
- ・早朝や夜間に運行する場合、余市協会病院線を利用する方は9名となっている。
- ・JRとスムーズに乗継ぎできる余市協会病院線を運行する場合、44%の方(37人)が利用している。

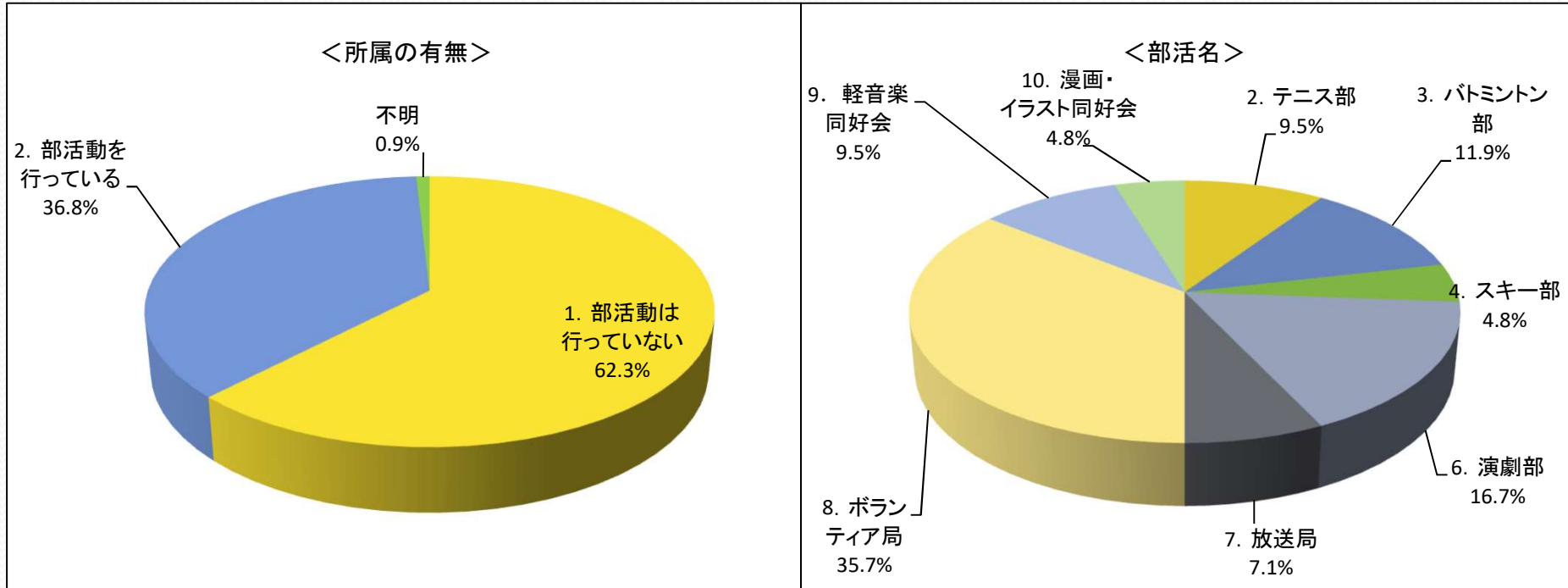
余市紅志高校アンケート調査

【回答者のお住まい】



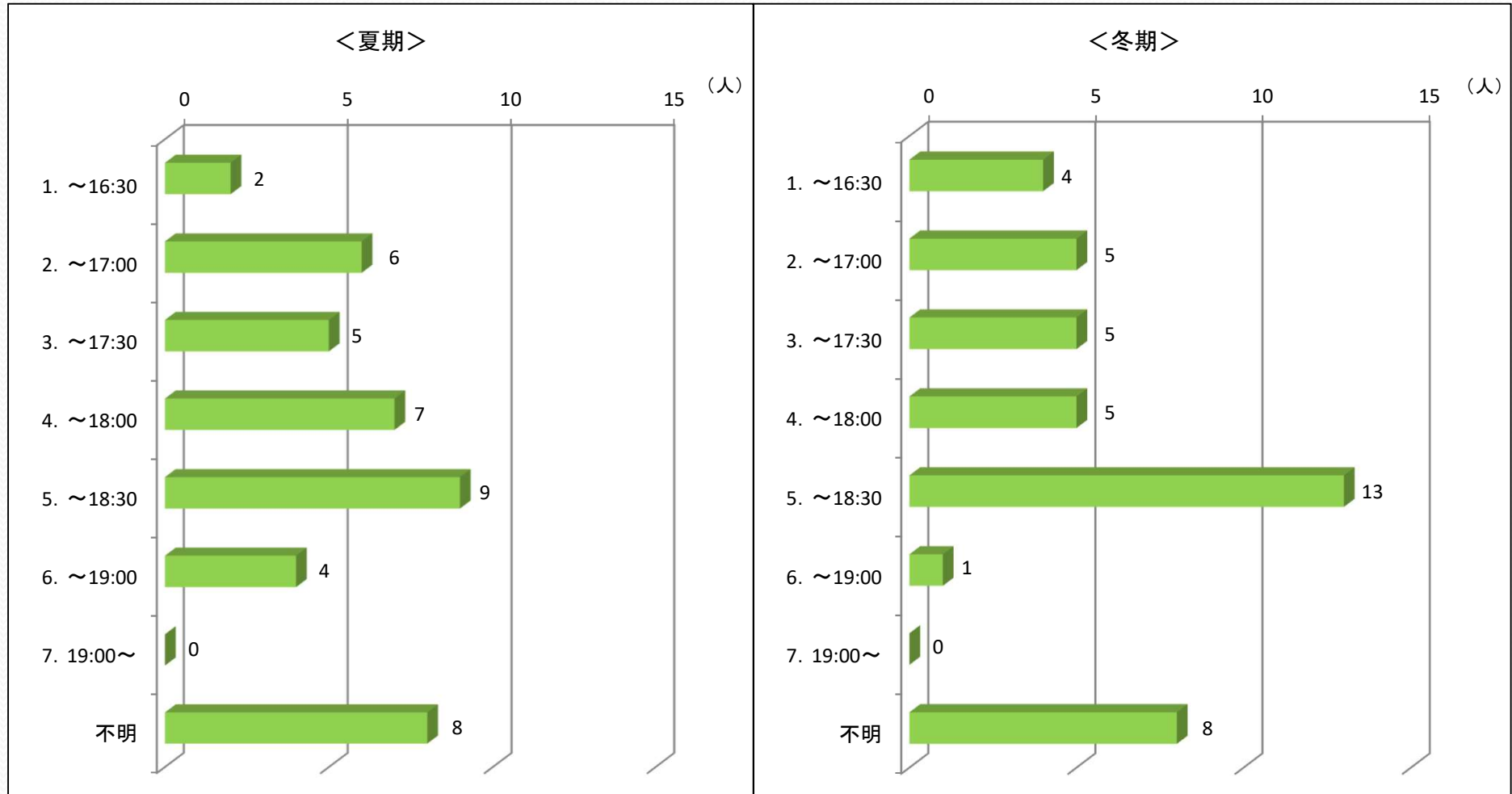
余市紅志高校アンケート調査

【部活動の状況】



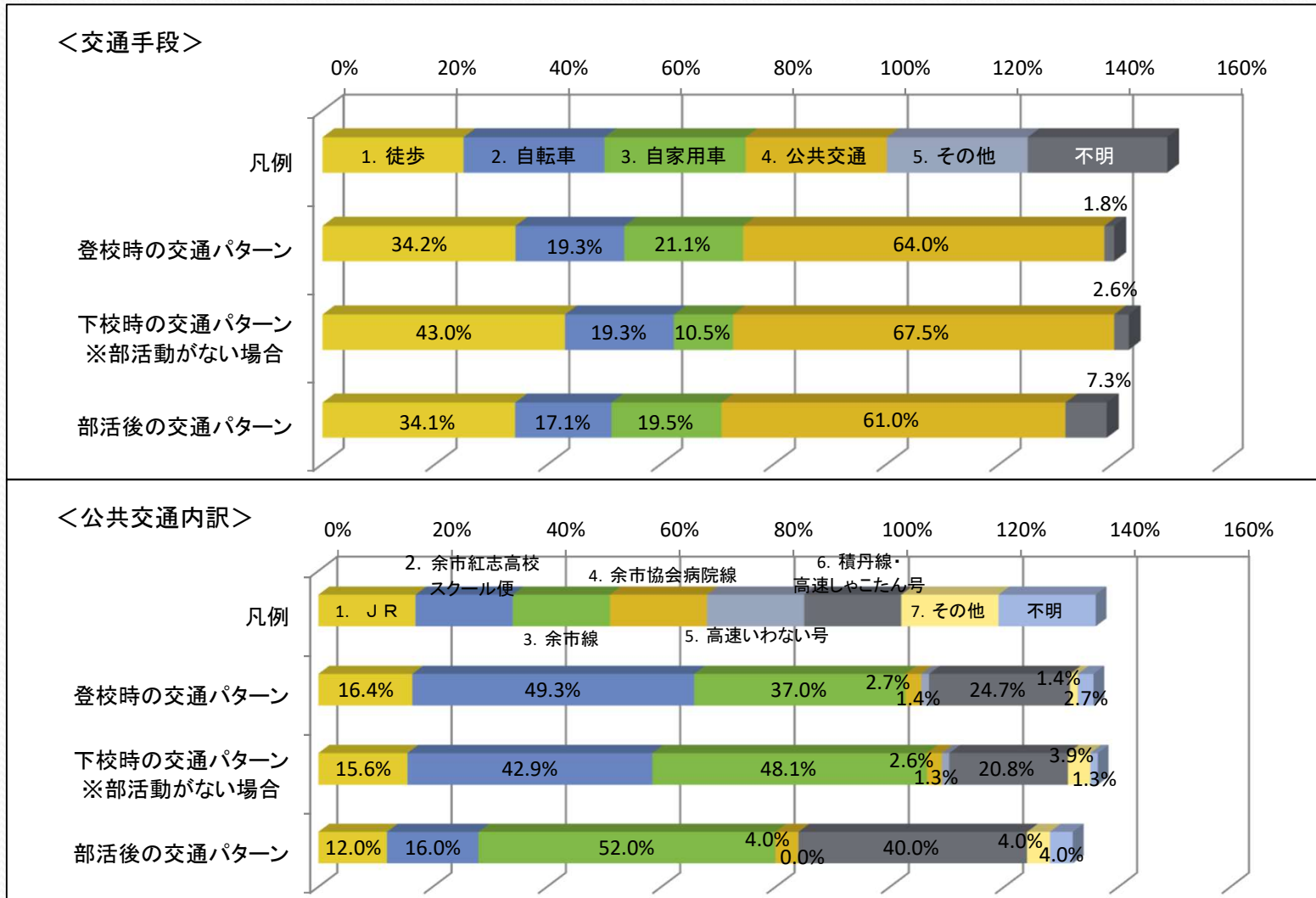
余市紅志高校アンケート調査

【部活動後の下校時間帯】



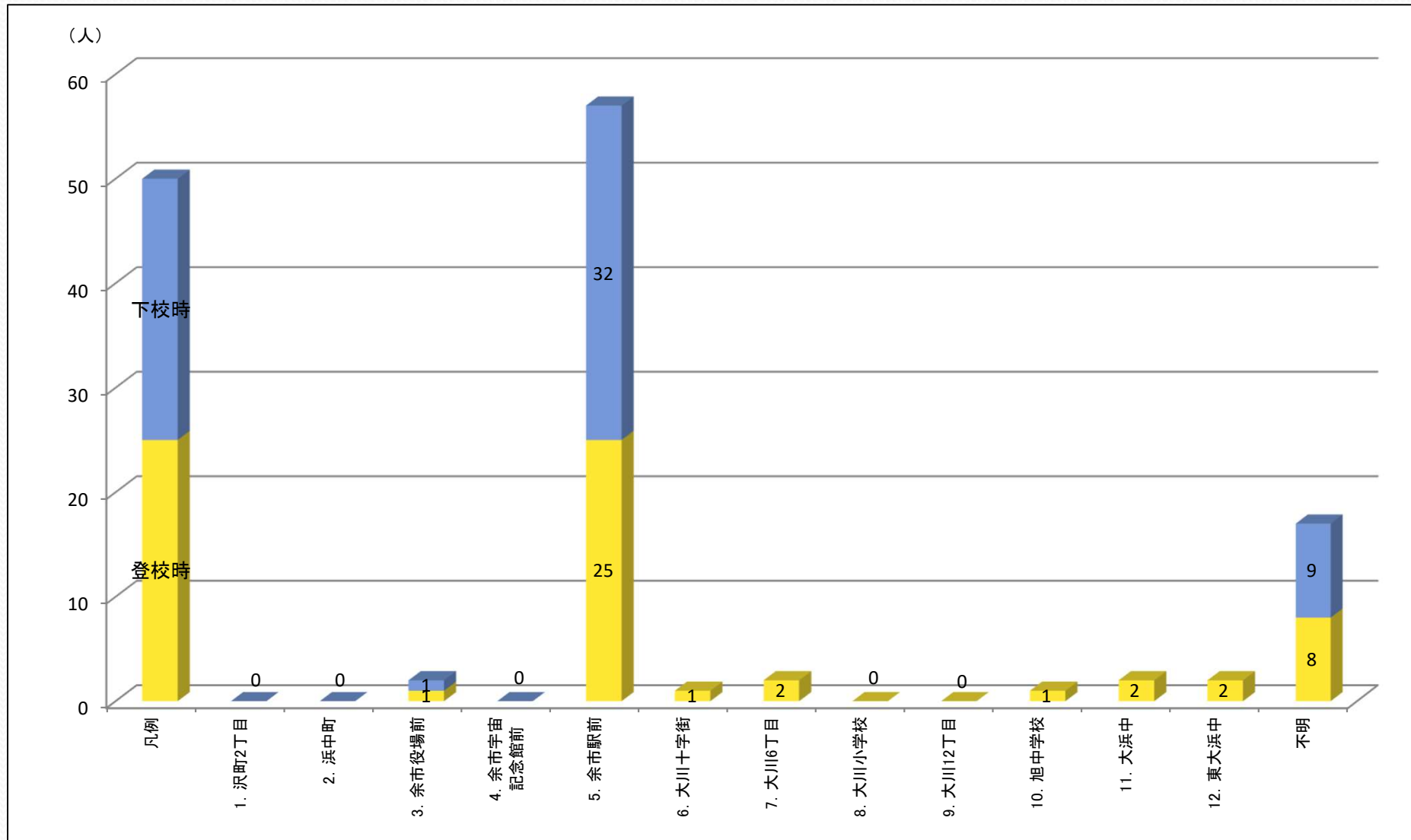
余市紅志高校アンケート調査

【登下校時の利用交通手段】



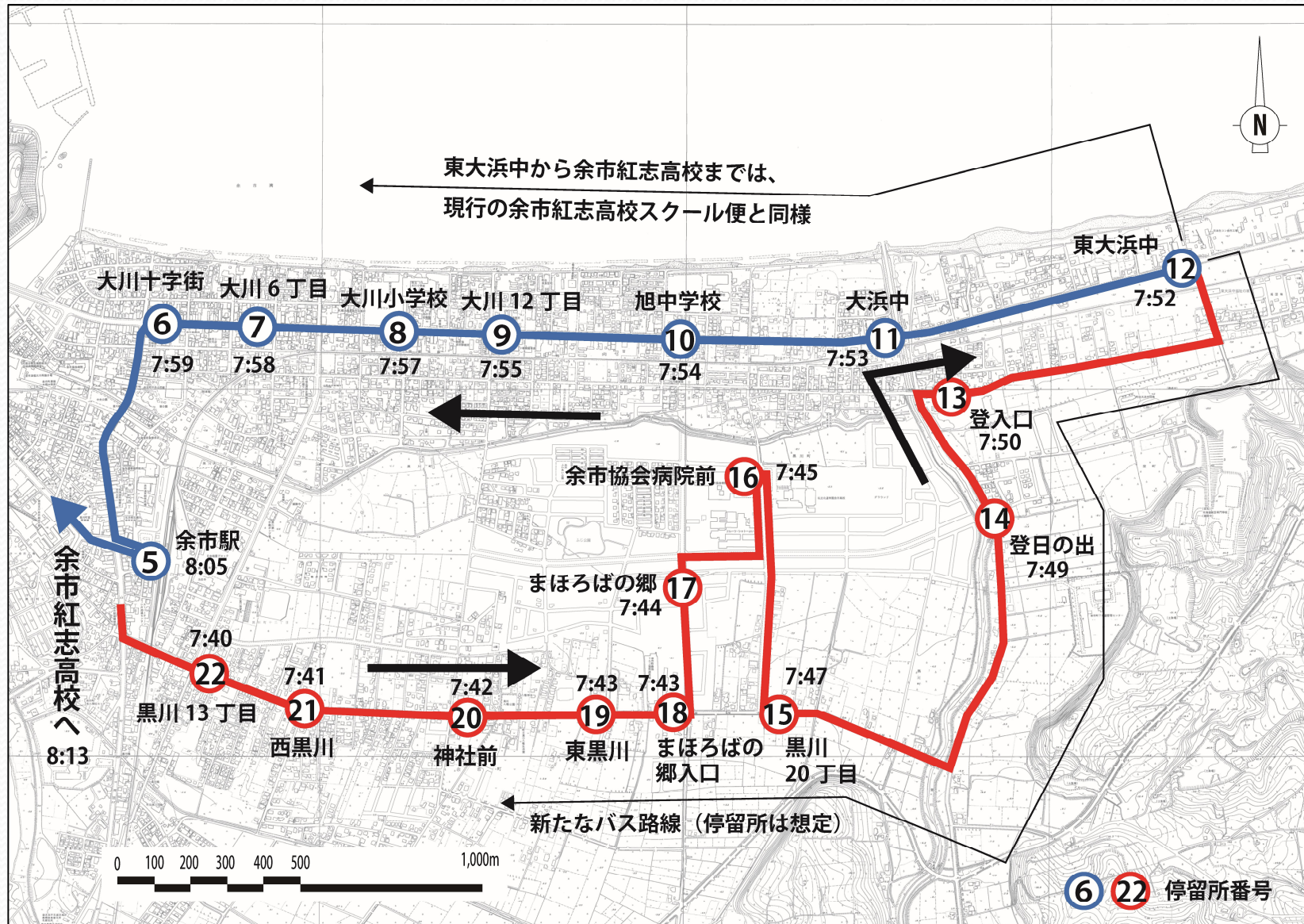
余市紅志高校アンケート調査

【余市紅志高校スクール便の利用停留所】



余市紅志高校アンケート調査

【余市紅志高校スクール便の延伸(想定)】

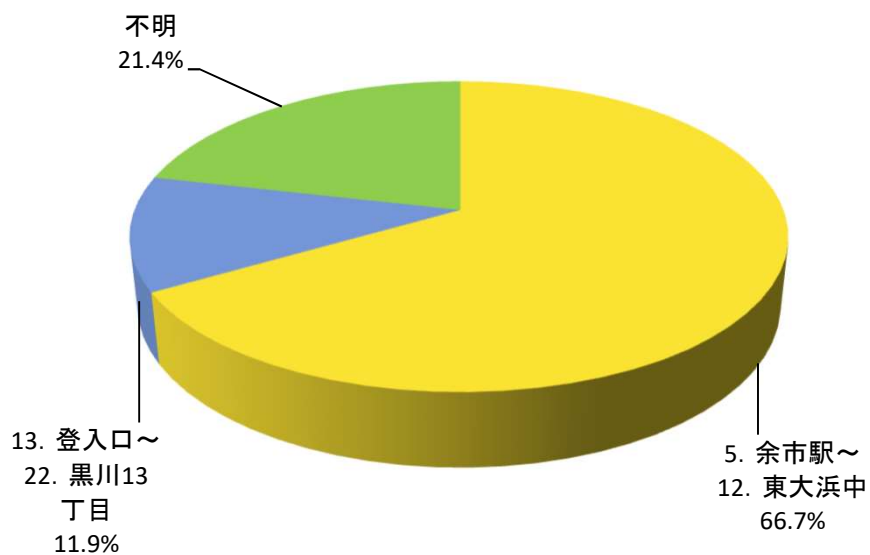


余市紅志高校アンケート調査

【余市紅志高校スクール便を延伸した場合の利用停留所】

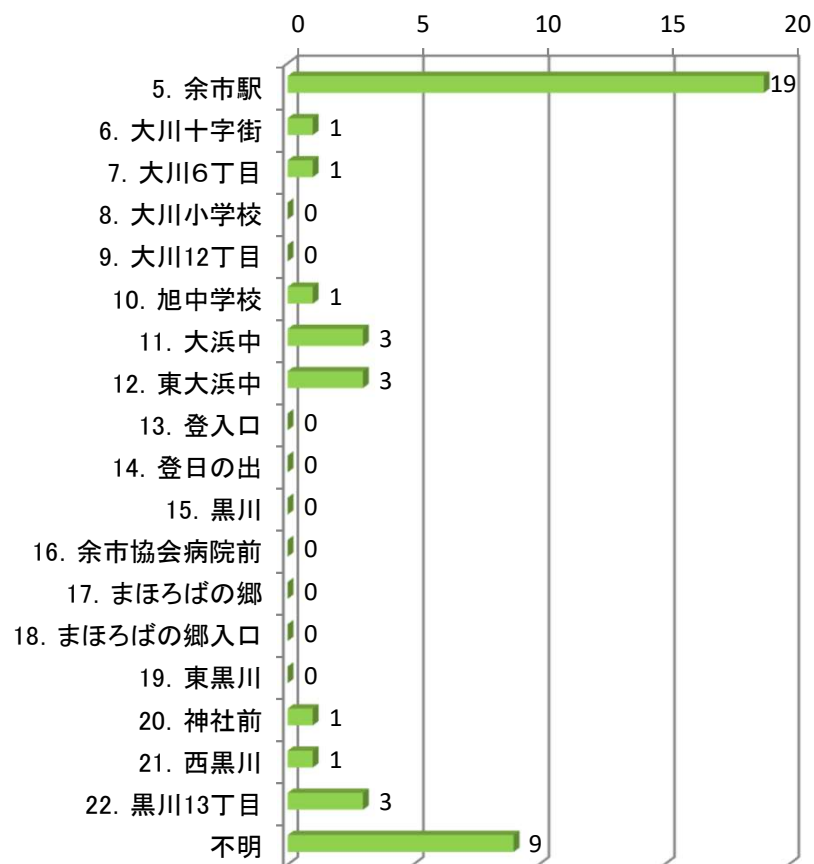
<区間別の構成比(従来・新規)>

項目	人数
5. 余市駅～12. 東大浜中	28
13. 登入口～22. 黒川13丁目	5
不明	9
合計	42



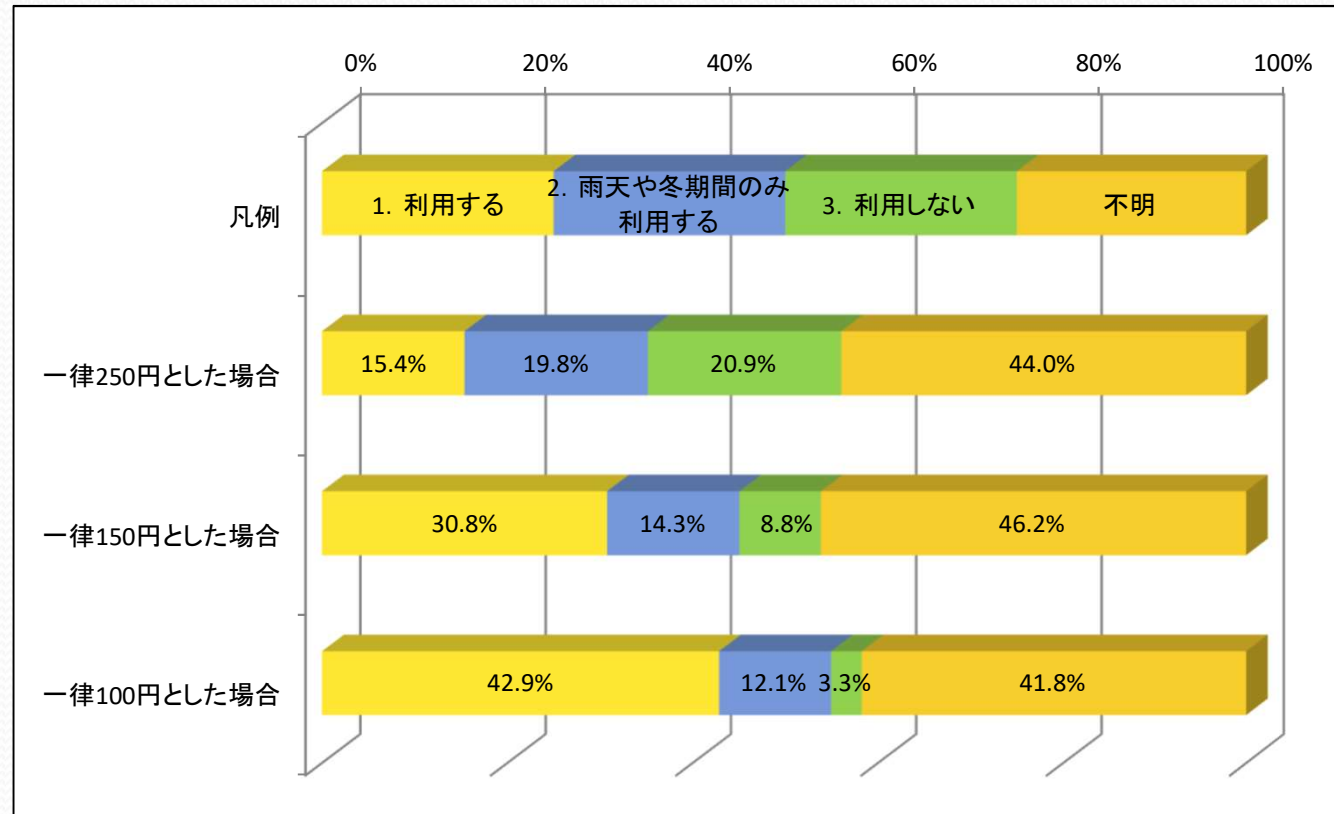
<停留所別利用人数>

(件)



余市紅志高校アンケート調査

【余市紅志高校スクール便の運賃別利用状況】



<参考:運賃収入>

250円×14人=3,500円

150円×28人=4,200円

100円×39人=3,900円

余市紅志高校アンケート調査

【余市紅志高校スクール便についての意見】

- ・増便して欲しい(5件)
- ・車両を大きくして欲しい(3件)
- ・下校便とも登校便と同じバス路線にして欲しい(2件)
- ・小樽から直接乗り入れて欲しい(2件)
- ・美国方面からの直接乗り入れて欲しい(1件) など

●まとめ(余市協会病院線の増便・延伸等に関する事項)

- ・余市紅志高校スクール便の下校便は1便のみの運行となっているため、全体の37%に該当する部活を行っている生徒(43人)の下校に対応できていない。
- ・余市紅志高校スクール便を延伸した場合、5人が利用するとしている(新規利用者は見込めない)。
- ・増便して欲しい、車両を大きくしてほしい、下校も登校と同じバス路線にして欲しいなどの意見がある。

余市町大川小学校アンケート調査

【学年とクラス】

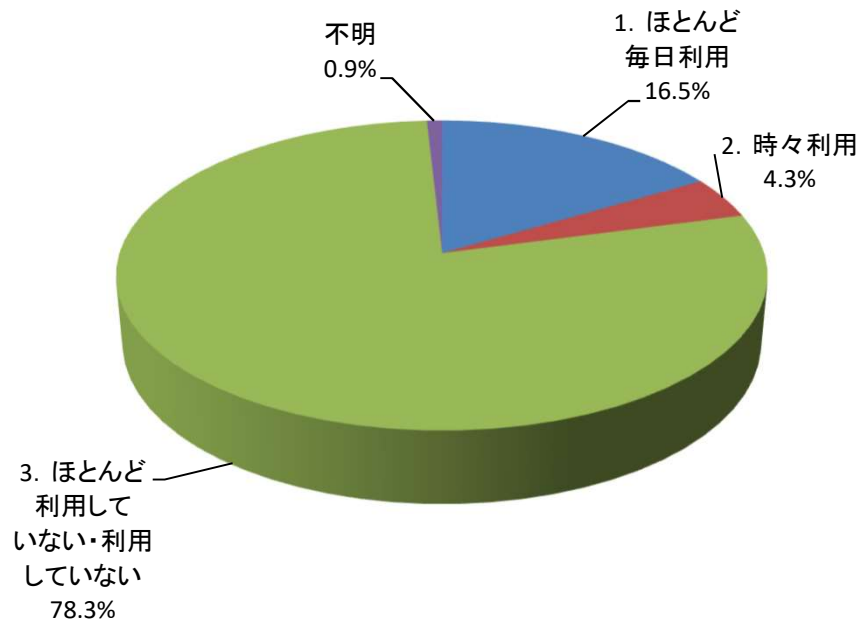
項目	1組	2組	合計
1年	11	8	19
2年	11	15	26
3年	19	—	19
4年	7	8	15
5年	20	—	20
6年	16	—	16
合計	84	31	115

余市町大川小学校アンケート調査

【通学における中央バスの利用状況】

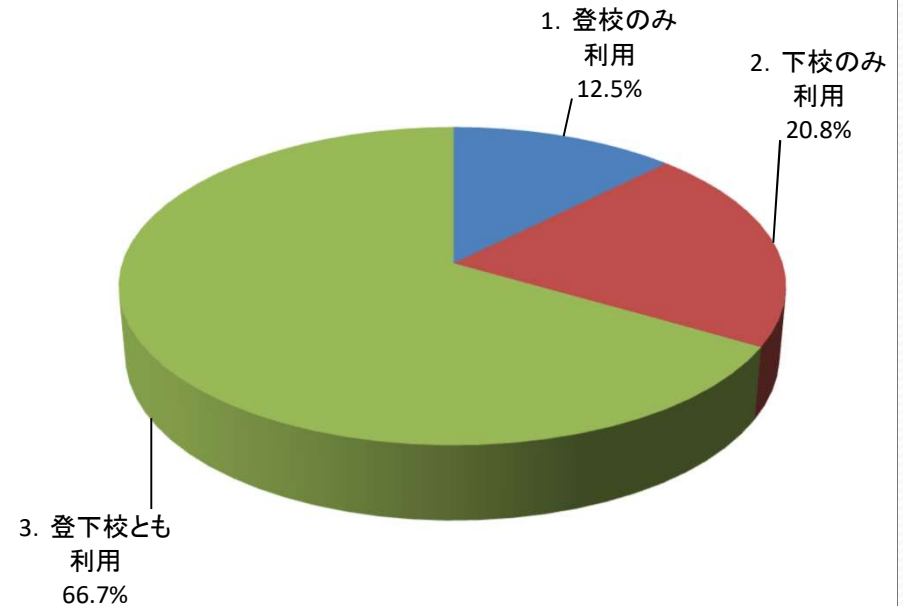
<利用頻度>

項目	件数
1. ほとんど毎日利用	19
2. 時々利用	5
3. ほとんど利用していない・利用していない	90
不明	1
合計	115



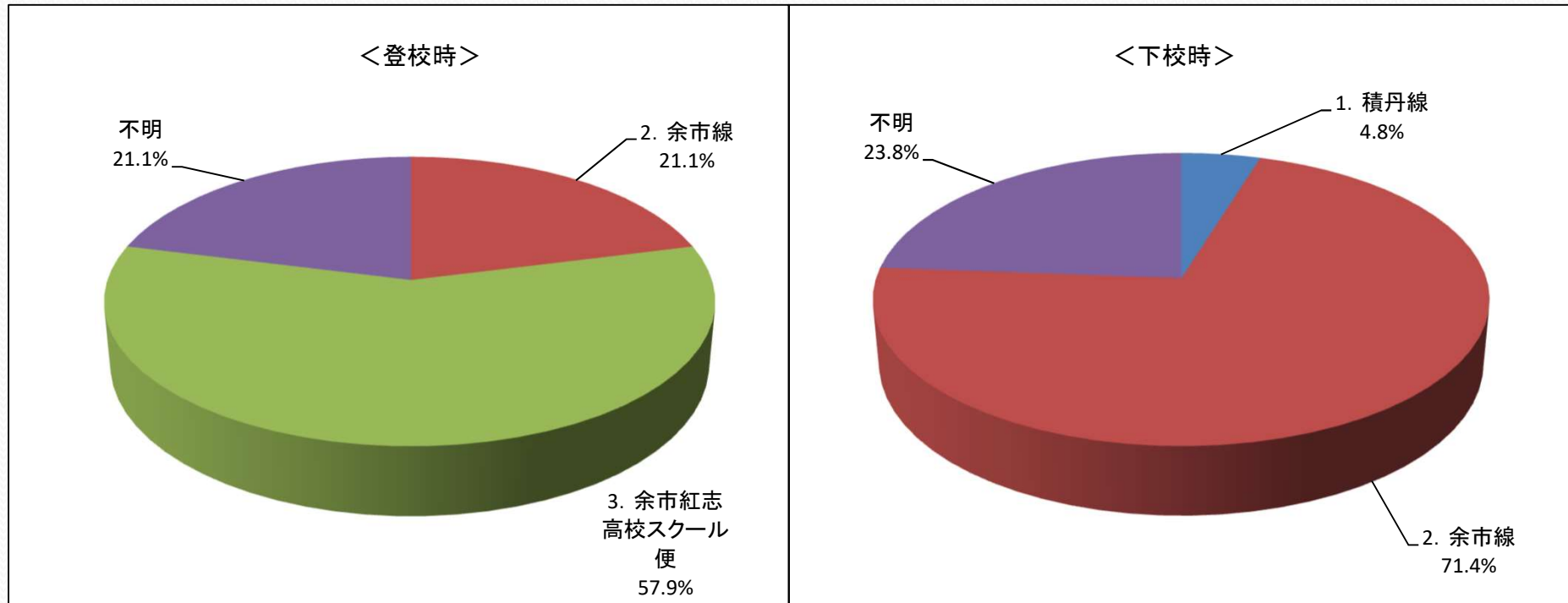
<登下校の利用>

項目	件数
1. 登校のみ利用	3
2. 下校のみ利用	5
3. 登下校とも利用 (Q2-4へ)	16
合計	24



余市町大川小学校アンケート調査

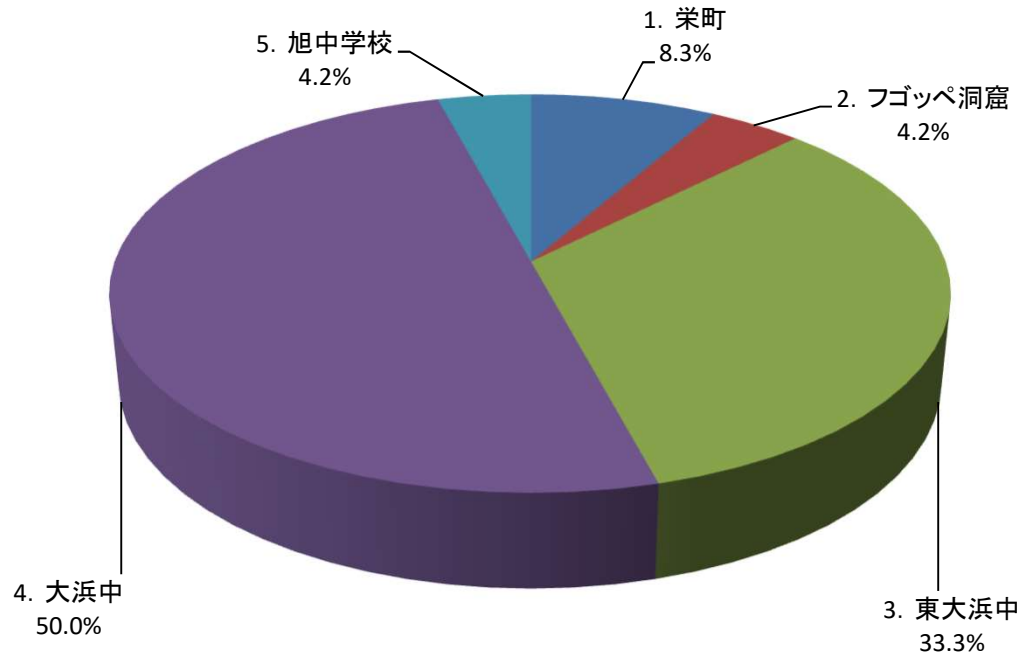
【利用する中央バス路線】



余市町大川小学校アンケート調査

【自宅から最寄りのバス停留所(中央バス利用者)】

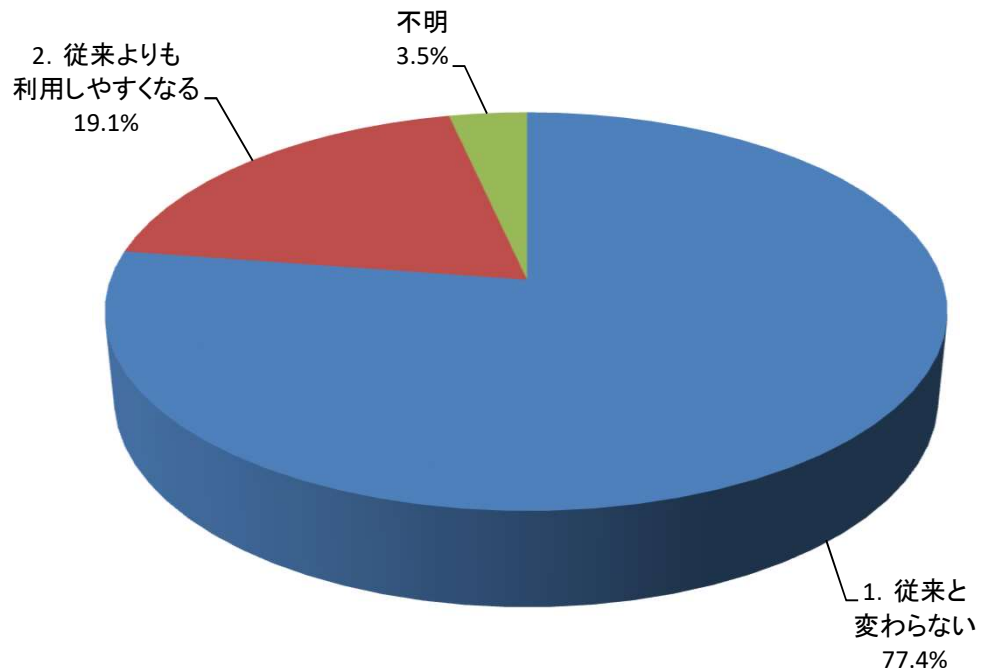
項目	件数
1. 栄町	2
2. フゴッペ洞窟	1
3. 東大浜中	8
4. 大浜中	12
5. 旭中学校	1
6. 大川12丁目	0
合計	24



余市町大川小学校アンケート調査

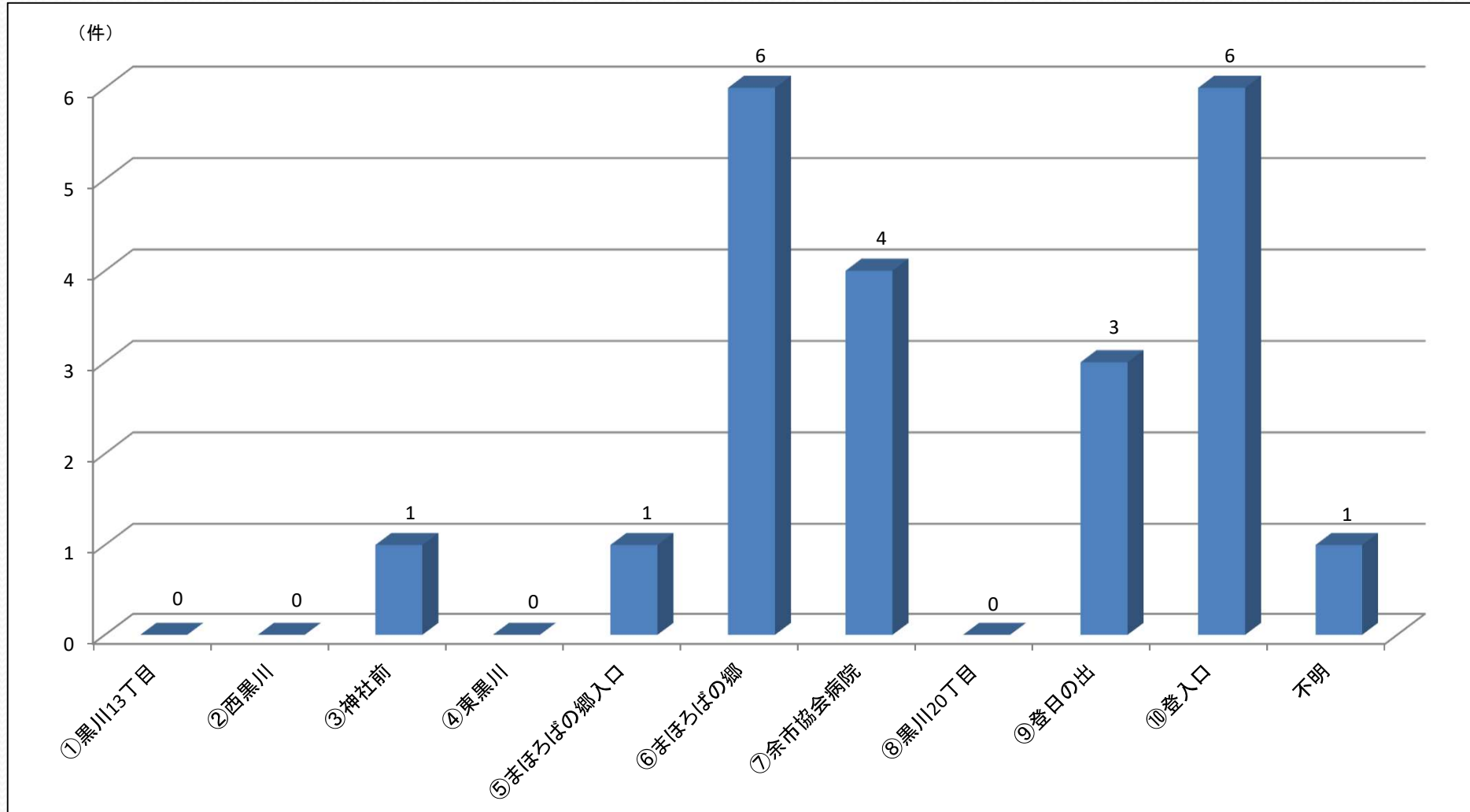
【余市紅志高校スクール便が延伸した場合の利便性】

項目	件数
1. 従来と変わらない	89
2. 従来よりも利用しやすくなる	22
不明	4
合計	115



余市町大川小学校アンケート調査

【余市紅志高校スクール便が延伸した場合の利用停留所(新規区間)】



余市町大川小学校アンケート調査

●まとめ(余市協会病院線の増便・延伸等に関する事項)

- ・余市紅志高校スクール便を延伸した場合、19%(22人)が便利になるとしている。
- ・22人の内、16人は新規利用者、6人が既存利用者となっている。

公共交通実態調査結果

(まとめ)

- ・余市協会病院線は早朝・夜の増便を行うことで37～65人程度の潜在需要がある。
- ・余市紅志高校スクール便は余市循環線に組み込み、下校便を増便することで、28人(紅志高校6人+大川小学校22人)程度の潜在需要がある。
- ・なお、(仮称)余市循環線は余市協会病院線と余市紅志高校スクール便のバス路線を包括する経路、あるいは2系統により運行することが考えられる。